



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 丸順
 コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 今川 喜章
 (氏名) 小高 光一

TEL 0584-89-8181

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	27,245	△17.7	△83	—	△336	—	△878	—
23年3月期第3四半期	33,099	10.4	1,822	384.8	1,463	—	718	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △1,294百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 366百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△89.92	—
23年3月期第3四半期	73.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	30,456	6,755	14.3	444.54
23年3月期	31,681	8,168	17.6	572.32

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,341百万円 23年3月期 5,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期末の配当につきましては、今後の経営環境が不透明であることなどから、現時点では未定とし、業績動向等を総合的に勘案し、あらためてお知らせいたします。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	9,771,000 株	23年3月期	9,771,000 株
24年3月期3Q	4,855 株	23年3月期	4,855 株
24年3月期3Q	9,766,145 株	23年3月期3Q	9,766,206 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の一部地域に見られる財政不安により経済状況の回復が減速したほか、好調だったアジア経済で一部成長が鈍化するなど、全体として低調に推移いたしました。日本国内においては、東日本大震災の影響からはほぼ脱し、緩やかな持ち直しに転じているものの、円高やデフレの進行及び雇用情勢の悪化など、景気下振れのリスクには引き続き注意が必要となっております。

当社グループが属する自動車業界では、東日本大震災やタイの洪水により、サプライチェーン全体が大きな影響を受け、総じて厳しい状況が続いております。また、円高の更なる進行や自動車市場の消費冷え込みなどに対処する新しい戦略が求められるなど、業界の経営環境は大きく変化いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、売上高、利益ともに前年度の水準を大きく下回る中で、生産体質の改善と固定費の削減を進め、経営体質のスリム化を図ることで、外的環境に影響されない「ボトム経営体質」の構築に注力してまいりました。また、生産に関わる品質の向上や安全性の確保、強みとなるコア技術の深化といった、グローバル企業としての基盤構築にも取り組んでまいりました。

しかしながら、日本、タイ、広州における減産の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,245百万円（前年同四半期比17.7%減）、営業損失は83百万円（前年同四半期は1,822百万円の営業利益）、経常損失は336百万円（前年同四半期は1,463百万円の経常利益）、四半期純損失は878百万円（前年同四半期は718百万円の四半期純利益）となりました。

報告セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

(丸順)

丸順においては、当社のメイン商品である車体プレス部品では、東日本大震災及びタイの洪水の影響により主要顧客が大幅な減産をしたため、業績に大きな影響がありました。金型においては、新機種用設備の販売が増加するなど、好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は12,152百万円（前年同四半期比11.2%減）、経常損失は30百万円（前年同四半期は212百万円の経常利益）となりました。

(タイ)

タイにおいては、国内における市場の成長やアジア周辺諸国向けの輸出の増加等、自動車産業は堅調に推移しておりましたが、東日本大震災による部品調達難のため、主要顧客の生産が停滞し、大きく減産する状況となりました。

以上の結果、売上高は5,765百万円（前年同四半期比20.1%減）、経常損失は450百万円（前年同四半期は246百万円の経常利益）となりました。

(広州)

広州においては、中国における自動車需要の拡大は底堅いものの、東日本大震災による部品調達難で主要顧客が減産したため、厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は6,324百万円（前年同四半期比28.9%減）、経常利益は130百万円（前年同四半期比85.9%減）となりました。

(武漢)

武漢においては、中国国内における自動車需要の拡大は底堅く、また東日本大震災の影響も軽微で済むなど、生産は好調に推移したものの、新機種立ち上がり費用の増加などにより、収益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は3,104百万円(前年同四半期比3.8%増)、経常利益は87百万円(前年同四半期比51.2%減)となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、車検及び修理を行うサービス部門は前年度並みの売上高を維持し好調だったものの、販売部門においては、前年度実施されたエコカー補助金制度で買換え需要の先食いがあったほか、震災の影響により一時的な商品の供給不足となるなど、大きな影響がありました。

以上の結果、売上高は1,419百万円(前年同四半期比30.6%減)、経常損失は23百万円(前年同四半期は43百万円の経常利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、30,456百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,224百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が917百万円増加、受取手形及び売掛金が477百万円増加、仕掛品が405百万円減少、有形固定資産が1,390百万円減少、関係会社株式が291百万円減少したことが要因であります。

負債総額は23,701百万円となり、前連結会計年度末と比較し、189百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が241百万円増加、短期借入金が684百万円減少、長期借入金が827百万円増加、リース債務が303百万円減少したことが要因であります。

純資産は6,755百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,413百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が897百万円減少、為替換算調整勘定が239百万円減少したことが要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

タイでの平成23年7月以降の豪雨による洪水により、タイ王国アユタヤ県のサハラタナナコン工業団地にある当社子会社タイ・マルジュン社(THAI MARUJUN CO.,LTD)が被害を受けました。工場は平成23年10月4日より操業を停止しておりましたが、12月6日より復旧活動を開始しております。現在の状況につきましては、一部代替生産に着手しておりますが、被災工場の早期の操業再開を目指し、当社より復旧支援を行っております。

現時点において、上記事項が当連結会計年度の業績に与える詳細な影響は不明確となっており、合理的な算定が困難となっているため、通期連結業績予想を未定とさせていただきます。状況が明確になり合理的な算定が可能となり次第、開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(棚卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	595	1,513
受取手形及び売掛金	5,926	6,403
商品及び製品	332	334
仕掛品	1,312	906
原材料及び貯蔵品	618	481
その他	808	751
貸倒引当金	△4	△0
流動資産合計	9,590	10,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,358	4,967
機械装置及び運搬具(純額)	5,076	4,474
工具、器具及び備品(純額)	4,721	4,082
土地	1,913	1,895
リース資産(純額)	1,175	900
建設仮勘定	1,410	1,944
有形固定資産合計	19,655	18,264
無形固定資産		
	128	113
投資その他の資産		
その他	2,324	1,705
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,307	1,688
固定資産合計	22,090	20,066
資産合計	31,681	30,456

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,357	5,598
短期借入金	7,583	6,898
リース債務	373	349
未払法人税等	149	6
賞与引当金	231	174
その他	1,280	1,680
流動負債合計	14,976	14,708
固定負債		
長期借入金	6,526	7,353
リース債務	642	362
退職給付引当金	756	826
役員退職慰労引当金	89	—
資産除去債務	80	82
負ののれん	26	18
その他	413	349
固定負債合計	8,535	8,993
負債合計	23,512	23,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	4,363	3,466
自己株式	△2	△2
株主資本合計	6,334	5,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	402	292
為替換算調整勘定	△1,147	△1,387
その他の包括利益累計額合計	△745	△1,095
少数株主持分	2,579	2,413
純資産合計	8,168	6,755
負債純資産合計	31,681	30,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	33,099	27,245
売上原価	28,579	24,739
売上総利益	4,519	2,505
販売費及び一般管理費	2,697	2,588
営業利益又は営業損失(△)	1,822	△83
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	15	19
助成金収入	—	73
その他	39	47
営業外収益合計	59	145
営業外費用		
支払利息	339	293
為替差損	63	79
その他	15	25
営業外費用合計	418	399
経常利益又は経常損失(△)	1,463	△336
特別利益		
固定資産売却益	26	2
特別利益合計	26	2
特別損失		
固定資産売却損	35	—
固定資産廃棄損	53	23
減損損失	2	—
災害による損失	—	79
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38	—
投資有価証券評価損	6	186
その他	46	—
特別損失合計	182	289
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,307	△623
法人税等	314	249
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	993	△873
少数株主利益	274	4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	718	△878

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	993	△873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	△110
為替換算調整勘定	△558	△311
その他の包括利益合計	△626	△421
四半期包括利益	366	△1,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259	△1,228
少数株主に係る四半期包括利益	107	△66

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	丸順	タイ	広州	武漢	四輪販売	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	12,426	7,112	8,543	2,982	2,034	33,099
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,253	98	349	7	8	1,718
計	13,679	7,211	8,892	2,990	2,043	34,817
セグメント利益	212	246	927	178	43	1,609

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,609
セグメント間取引消去	△121
その他の調整額	△23
四半期連結損益計算書の経常利益	1,463

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	丸順	タイ	広州	武漢	四輪販売	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,877	5,746	6,101	3,104	1,415	27,245
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,275	18	222	0	4	1,521
計	12,152	5,765	6,324	3,104	1,419	28,766
セグメント利益又は損失(△)	△30	△450	130	87	△23	△286

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△286
セグメント間取引消去	188
子会社配当金	△266
その他の調整額	27
四半期連結損益計算書の経常損失	△336

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

「タイ・マルジュン社における冠水被害について」

当社の連結子会社であるタイ・マルジュン社は、タイ王国アユタヤ県における洪水により、本社及び工場建屋が冠水被害を受けました。

この洪水により、たな卸資産、建物及び機械装置等への損害並びに復旧のための修繕費等が発生しておりますが、建物及び機械装置等への損害並びに復旧のための修繕費については、保険による補填額を含め、実質損害額等は現時点では未確定であります。

なお、タイ・マルジュン社の決算日は12月31日であり、当四半期連結財務諸表の作成に当たってはタイ・マルジュン社の9月30日の財務諸表を使用しております。